

事業紹介

国公立大学等の基礎情報の 収集・提供によるIR支援

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構
大学ポートレートセンター事務室長
三田 洋介



令和元年11月11日
令和元年度人材育成セミナー

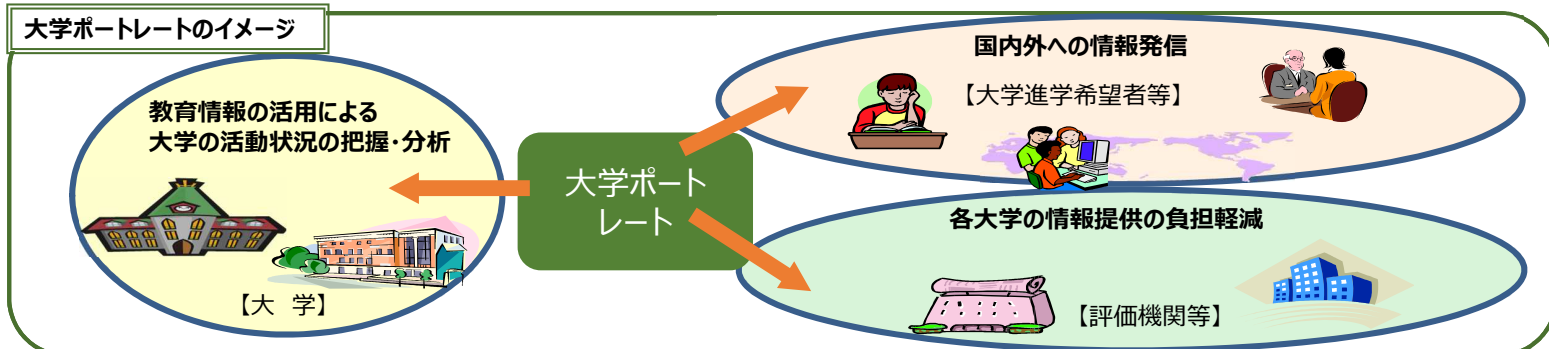
大学ポートレートについて

概要・趣旨

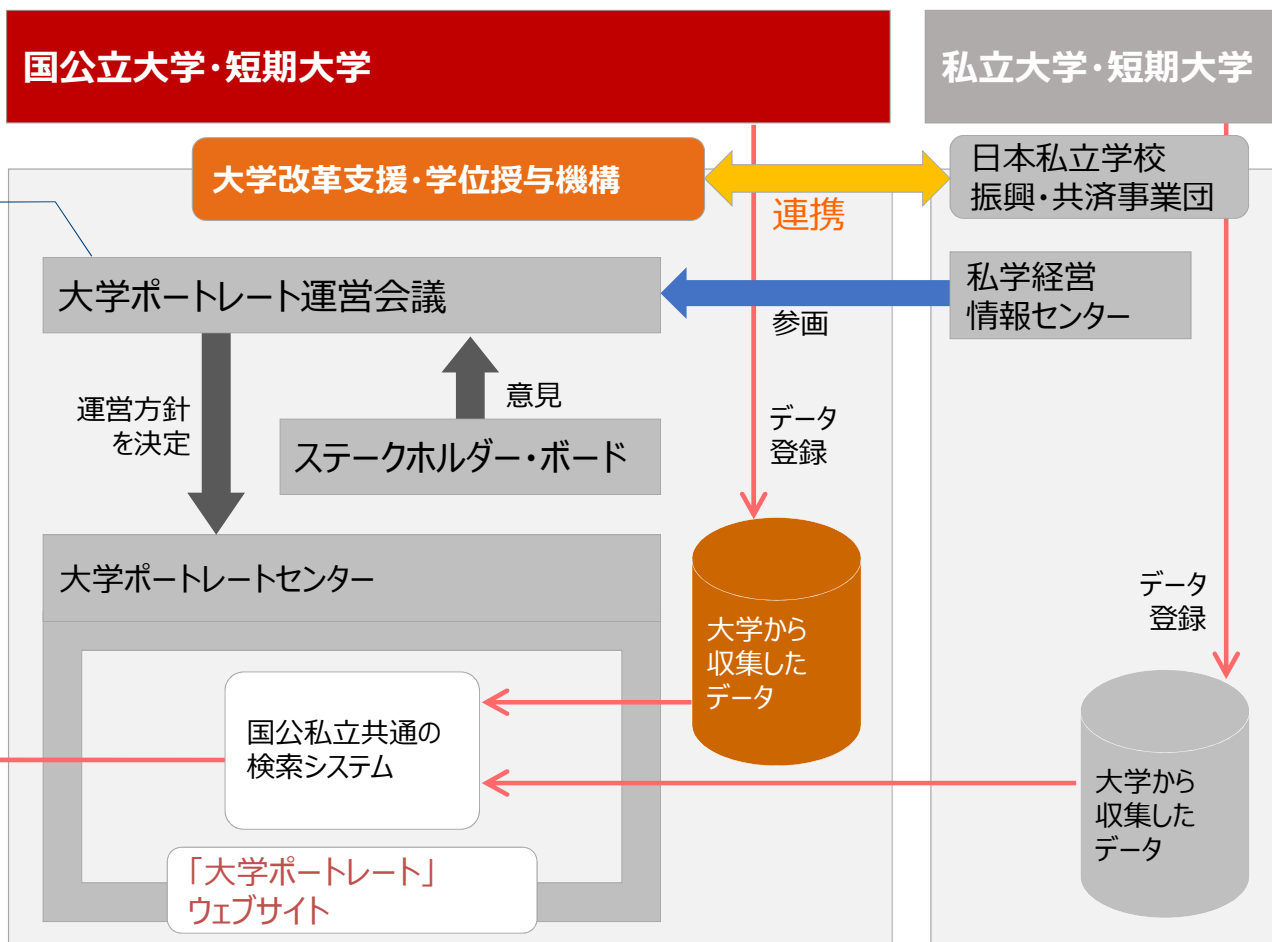
データベースを用いた**大学の教育情報の活用・公表**のための共通的な仕組みを構築。

- 大学の多様な教育活動の状況を、国内外の様々な者にわかりやすく発信。
 - 大学のアカウンタビリティの強化、進学希望者の適切な進路選択支援、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上
- 大学が教育情報を自らの活動状況を把握・分析することに活用。
 - エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化による大学教育の質的転換の加速。質保証システムの強化。
- 基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、各種調査等への対応に係る大学の負担軽減。
 - 大学運営の効率性の向上

大学ポートレートのイメージ

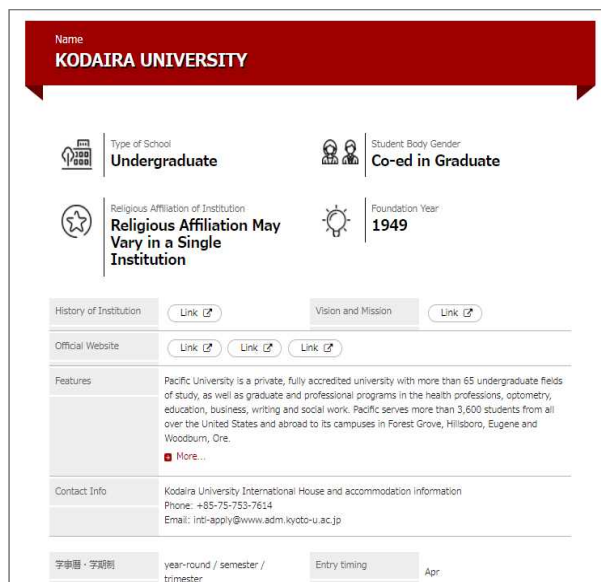


大学ポートレートの公表体制



教育情報の「公表」に関するこれまでの取組

- 平成27年3月 国公立大学全体での教育情報の公表を開始。
- 平成30年10月 国公立大学の国際発信版の公表を開始。
- モバイル対応、一覧機能の追加、公表項目及び検索機能の充実等を継続。



教育情報の「活用」に関するこれまでの取組

- 大学ポートレートによる教育情報公表のために国公立大学から収集した大学基本情報について、ExcelファイルをWeb公表し、ダウンロード可能としている。

<http://portal.niad.ac.jp/ptrt/table.html>

大学基本情報 2016(H28)

学生教職員等	(7-A) 学生数	
	(7-B) 教員数(本務者)	DOWN
	(7-1) 教員数(本務者)(再掲)	
	(7-Z) 教員数(兼務者)	
	(7-C) 職員数	
学部学生内訳	(8-D) 学科別学生数 入学者志願者数 入学者	
	(8-2) 学科別学生数のうち休学者数	
	(8-3) 学科別学生数のうち最低在学年超過	
	(8-G) 出身高校の所在地県別入学者数	
	(8-O) 年齢別入学者数(再掲)	DOWNLOAD
	(8-7) 専攻科・別科及び聴講生等の学生数	DOWNLOAD
	(8-R) 短期大学・高等専門学校・専修学校(専門課程)からの編入学者数	DOWNLOAD

2012年度から2019年度までの大学基本情報を提供。

各大学から提供された情報を項目ごとにExcelに集計して一覧表として提供

4

教育情報の「活用」に関する最近の取組

- Excelファイルを公表するだけでは、各大学のIR担当者等が分析作業するのに手間がかかる。
- より活用しやすいものとするため、データの動的な可視化ができるツールである、**ビジネスインテリジェンス (BI) ツール**を利用した分析環境（「**国公立大学情報活用サイト**」）を令和元年11月から国公立大学に提供予定。
- 機構があらかじめデータを加工してBIツールを用いて提供することで、利用者は簡単な操作のみでグラフ等を閲覧できるようになる。利用者の関心に応じて大学名等のフィルターを選択するだけで、入学者データ、進路データなどの様々なグラフが表示できる（グラフの例は当日投影）。

5

当日投影のみ

当日投影のみ

当日投影のみ

当日投影のみ

国公立大学情報活用サイトに掲載する指標

分類	No.	指標名	組織単位
学生教職員	1	学生総数	学校
	2	女性学生の割合	学校
	3	学部学生に対する大学院学生の比率	学校
	4	職名別本務教員数・割合	学校
	5	女性教員数・割合	学校
	6	外国人教員数・割合	学校
	7	本務教員あたり学生数	学校
	8	職種別職員数・割合	学校
	9	本務・兼務別職員数・割合	学校
	10	本務教員あたり職員数	学校
	11	職員あたり学生数	学校
学部学生	12	学部男女別学生数・女性学生割合	学科・専攻
	13	学部入試倍率（志願者数／入学者数）	学科・専攻
	14	学部休学者数・割合	学部・研究科
	15	学部最低在学年限超過学生数・割合	学部・研究科
	16	出身高校の所在地別学部入学者数・割合	学部・研究科
	17	都道府県別の進学先学部割合（国公立大学のみ）	学部・研究科
	18	学部年齢別入学者数・割合	学部・研究科
	19	前歴別入学者数	学部・研究科
	20	入学者に占める留学生割合	学部・研究科
	21	専攻科・別科学生数	学部・研究科
	22	学部科目等履修生等数、正規課程学部学生に対する科目等履修生の比率	学部・研究科
大学院学生	23	大学院男女別学生数・女性学生割合	学科・専攻
	24	大学院社会人学生数・割合	学科・専攻
	25	大学院休学者数・割合	学部・研究科
	26	大学院最低在学年限超過学生数・割合	学部・研究科

分類	No.	指標名	組織単位
大学院学生	27	大学院年齢別入学者数・割合	学部・研究科
	28	入学者に占める留学生割合	学部・研究科
	29	社会人入学者数・割合	学部・研究科
	30	大学院科目等履修生等数、正規課程大学院学生に対する科目等履修生の比率	学部・研究科
短大学生	31	短大男女別学生数・女性学生割合	短大学科
	32	短大入試倍率（志願者数／入学者数）	短大学科
	33	短大休学者数・割合	短大
	34	出身高校の所在地別短大入学者割合	短大
	35	短大年齢別入学者割合	短大
	36	前歴別入学者数	短大
	37	留学生入学者数	短大
外国人学生	38	国別外国人学生数・割合	課程
	39	外国人学生の受入先構成	課程
	40	留学生種別（国費・私費）による留学生数・割合	課程
	41	留学生割合	課程
	42	非正規課程の外国人学生数	課程
	43	非正規課程の外国人学生数の受入先構成	課程
卒業後の進路	44	進学者数・進学率	学科・専攻
	45	卒業者に占める就職者の割合	学科・専攻
	46	進学・臨床研修医を除く卒業生における就職者の割合	学科・専攻
	47	博士課程における満期退学者数・割合	学科・専攻
	48	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了者数・割合	学科・専攻
	49	職業別就職者数・割合	学科・専攻
	50	産業別就職者数・割合	学科・専攻

10

国公立大学情報活用サイトで期待される効果

IR担当教職員

- これまで大学基本情報を使っていた方にとっては、加工の負担が軽減。
- サイトでは加工済み元データも提供するので、各大学の独自の関心に基づいてレポートを作成できる。
- 利用のハードルが下がったことで、新たに大学基本情報を参照するなどIR活動の幅が広がる。

その他（例えば部局）の教職員

- フィルター選択などの基本的な操作だけでベンチマーキングが可能。
- データを収集をして分析する人員がいなくても、自大学や自部局の基本的な情報を得ることができる。
- 部局等の現状把握や内部質保証に役立てていただくツールとなる。



11

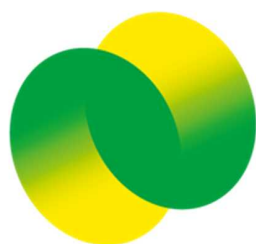
コンテンツの充実

- 利用状況（どのレポートを何人が見ているか）の分析、大学教職員へのヒアリングを行い、それに基づいてコンテンツの充実を図る。
- 大学基本情報だけでは分析できないデータ（例えば研究費関連）については、異なる調査データを使うことを検討する。

活用事例の蓄積

- 教育情報の活用支援の取組は、「サイトを構築・提供する」こと自体が目的ではなく、各大学における教育の質の保証や改善につながることを目的。
- 機構による支援が真に役に立ったという事例が作れるかが重要。そうした事例が生まれるか注視し、利用者増加やさらなる活用支援の施策の立案につなげたい。

ご清聴ありがとうございました



NIAD-QE



JPCUP